

平成 2 7 年洞爺湖町教育委員会第 2 回臨時会会議録

日 時	平成 2 7 年 5 月 1 8 日 (月) 1 3 : 3 0 より
場 所	役場第 1 委員会室
出席委員	委 員 岩 原 義 美 委 員 吉 田 聡 委 員 増 山 和 世 教 育 長 綱 嶋 勉
欠席委員	無し
説明員	管理課長 天 野 英 樹 社会教育課長 永 井 宗 雄 社会教育課主幹 角 田 隆 志
会議録調整者	管理課主幹 佐 藤 融
傍聴者	無し
日 程 第 1 【開会宣言】	岩原委員 開会を宣言する。(1 3 : 3 0)
日 程 第 2 【前回会議録の承認】	岩原委員 各教育委員の署名により、承認を確認。
日 程 第 3 【教育長諸般の報告】	綱嶋教育長 3 / 3 0 町体育協会表彰式 (駅交流センター会議室) 3 / 3 1 職員、教職員退職辞令交付式 (役場) 4 / 1 職員辞令交付式 (役場) 4 / 3 教職員辞令交付式 (防災ホール) 4 / 7 虻田小・温泉小・とうや小・虻田中・温泉中・洞爺中学校 入学式 (各学校体育館) 4 / 8 虻田高校入学式 (虻高) 管内教育長会議等 (むろらん広域センター) 4 / 1 0 定例校長会 (役場) 4 / 1 6 公立高等学校配置計画地域別検討協議会 (むろらん広域センター) 4 / 2 0 定例教頭会 (役場)

- 4／21 全国学力、学習状況調査（国、算、数、理）
- 4／22 とうや文化協会通常総会（洞爺ふれ愛センター）
- 4／28 洞爺芸術館特別展「増子美恵子、グラスリッツェン絵画展」
オープニングセレモニー
- 4／30 町教育研究会総会（温泉中）
- 5／1 スポーツ推進委員会議（役場）
- 5／5 定例校長会（役場）
- 5／11 町議会5月会議（議場）
- 5／14 町育英資金運営委員会（役場）
- 5／15 教科用図書第10採択地区協議会（むろらん広域センター）
- 5／16 洞爺湖マラソン2015前夜祭（洞爺湖文化センター）
- 5／17 洞爺湖マラソン（噴火記念公園前道道、湖畔遊歩道）
- 5／18 教育委員会第2回臨時会（委員会室）

岩原委員

ただいま教育長の諸般の報告をされましたが、これに対して何かご質問、ご意見ございませんか。

来栖委員

今の教科書について教えていただきたいのですけども、テレビで先般見たのですけど、教科書が変わると先生方へ教科書の勉強会みたいなものというのは洞爺湖町ではやるんですか。例えば、中国の問題等が載ってる載ってないに於いての参考書みたいな、私たちの子供のころだと教科書についての参考書みたいなのがあって、先生達が個人で購入して勉強する先生はちゃんとした授業ができるけども、そういうのが変わってもそういうので勉強しない先生は自分の論をそのまま言うというのをテレビでおっしゃっていて、各町の教育委員会が教科書の参考書みたいなものを買ってあげたり、勉強するよという指導をしているか、していないかによって、その町の教育が違うみたいなことをちらっと見ていたのですけど、私には意味があまりわかりませんでした。

綱嶋教育長

教科書の改訂は、国の検定を受けた教科書なのですが、出版社が変われば現場の先生方も教材も変わりますから、相当大変だというふうに思います。今、お話出てきた教科書を児童・生徒に学習する上で、先生の指導書というのがあります。それは改訂になったら出版会社が変わる変わらない関係なく、多少変わりますから、それは併せて公費で購入して学校に配布し、それに基づいて教育活動を行ってもらう。それから、当然出版会社が変わらなくても多少中身が変わると教材等、先生方は創意工夫して作ります。それは各自、中学校であれば教科の先生だし、小学校だと担任の先生が作るという流れになっています。公費では間違いなく指導書も配布しますから、それに基づいて教育活動をしていくことになります。

・選挙第1号 ・指定第1号	号を終わりにさせていただきます。 岩原委員 続きまして、選挙1号洞爺湖町教育委員会委員長の選挙について、この件につきましては、指定第1号とともに人事案件になりますので、洞爺湖町教育委員会会議規則20条の規定により非公開としたいと思います。よろしいでしょうか。 《「はい」という人あり》 ————— 非 公 開 ————— 《指名推薦により岩原委員を委員長に選任》 《指名推薦により吉田委員を委員長職務代理者に指定》 ————— 非公開終了 —————
日 程 第 7 【 そ の 他 】 ・報告第9号	岩原委員長 今回の第2回臨時会に追加議案がございますので、よろしくお願いします。 報告第9号 史跡入江・高砂貝塚整備事業基本計画について、社会教育課長の方からよろしくお願いします。 永井課長 報告第9号 史跡入江・高砂貝塚整備事業基本計画についてご報告いたします。 これまで有識者による史跡入江・高砂貝塚整備検討委員会において協議をいただいておりますけども、前回の会議でも一部ご報告させていただいております。本日は、別紙にあります基本計画書を基にその概要について、ご説明をさせていただきたいと思います。今後につきましては、下記の表にあります史跡入江・高砂貝塚整備委員会に名称を変えて立ち上げております。委員長につきましては小林達雄氏、以下、石田委員、山田委員、後藤委員、ここまでの委員については、検討委員会からの継続の委員でございます。もうひと方、長沼委員につきましては、今回新規で委員を委嘱するところがございます。委嘱期間につきましては、平成27年4月1日から平成29年3月31日となっております。それでは資料の整備基本計画書を基に概要の方を説明させていただきたいと思います。資料の方をご覧いただきたいと思います。 角田主幹 私の方からご説明をさせていただきます。別冊の史跡入江・高砂貝塚整備基本計画書でございます。前半の部分48ページまでなのですが、入江・高砂貝塚の経緯と貝塚の特徴を記載してございます。昭和63年5月13日に入江貝塚が初めて指定されて、それから過去に発掘調査等が行われ遺跡の内容が明らかにされ、平成7年から9年まで入江貝塚の整備が行われました。その後、平成14年に高砂貝塚が追加指定となりまして、名称も入江・高砂

貝塚になりました。そういった経緯が４８ページまでに記載してございます。４９ページからローマ数字のⅢとなりますけども、ここからが具体の基本計画の中身になります。これからの整備をどのように考えて展開していくかということを記載してございます。大きく分けまして今現在、手つかずの部分の高砂貝塚、今、野原になっているところですけども、その整備をメインとして考えております。それと平成７年から９年に整備が終了した入江貝塚、それと入江・高砂貝塚館とガイダンス施設の部分についても対象としております。５０ページにはそれぞれの地区ごとに役割を持たせるということが書かれております。５０ページの①から③まで、中央拠点地区というのが、今のガイダンス施設のあるところで、総合解説と情報発信の場、それと入江貝塚地区につきましては、暮らしに触れる空間ということで体験学習の場として位置付ける。３つ目の高砂貝塚地区には、自然とふれあい縄文のたたずまいを体感できる場ということで、それぞれコンセプトを決めています。具体的な整備、何をするのかということにつきましては、６１ページからということになります。まずは説明板、標識等の設置、それから今、高砂貝塚においては、段差がありますので、過去の造成によって段差がございますので、それを取り払う造成工事を行います。それとメインになるのが、遺構の復元等でございます。高砂貝塚からは縄文時代の貝塚、それから、お墓、竪穴住居などが見つかっておりますので、復元もしくは表示などをして、そこが遺跡だったよということを示してまいります。もう一つ６２ページの図にもありますけども、アイヌ語名でオムナイという川、今は高砂川という普通河川になっておりますけども、３面コンクリート張りの箱物ですが、この川の整備、川を大改修するのではなくて、これも縄文時代には、ここに川が流れていたということは発掘調査で分かっていますので、このせせらぎを再現して、動植物、特に昆虫ですとか、植物などをここで再現して、縄文のたたずまいを体感できるような空間にしていきたいというふうに考えております。続きまして、７３ページからは既に整備が終わっている入江貝塚公園、それからガイダンス施設のことについて、これまでのやった内容、それから成果と課題等を記してあります。ここにつきましては、今現在、住居ですとか、貝塚の露出展示などを整備しておりますけども、竪穴住居なども老朽化しておりますので、その改修も含めて入江貝塚の方も改修していきたいと、再整備をしていきたいというふうに考えています。それから、もう一つは体験学習などにも対応するために今ある中央拠点の入江・高砂貝塚館、ガイダンス施設の展開改修、一部増築も含めまして、展示の改修を考えております。以上ですけども、内容につきましては、おおざっぱには以上ですが、これを市民の皆様と協力をしながら、今、アプタフレナイの会という会がございますけども、そういった地域、団体、学校等と協力をしながら整備の方、ソフト事業を進めていきたいと考えております。以上、ざっぱくですけども説明を終わります。

岩原委員長

ただいま整備基本計画の主なものにつきまして、説明ございましたが、何かご質問ございませんか。

吉田委員

団体で見学などをする場合はあくまでも中央拠点地区に先ず行ってもらって、そこでガイダンスを受けて徒歩で移動ということを考えているのですか。

角田主幹

そうです。駐車場が基本的にはそこにしかありませんので、バスなどはガイダンス施設のところに止めて徒歩で移動する形をとっています。

岩原委員長

駐車場を作るには、どの程度の大きさになるか分からないのですけども、遺跡の規制、障害はないのですか。保存という意味での。

角田主幹

駐車場を改めて整備する必要はなく、既にガイダンス施設のところに駐車場がありますので、それを利用するという形で考えております。

来栖委員

バスで駐車場に行くのに、国道から行くのもきついし、山側から行くのもきついというのが、ドライバーさんからよく言われます。

綱嶋教育長

現状では、37号線からまっすぐ山側に直進して、踏切狭く、正式な道路ではないのですが、上っていくのが一番わかりやすいかなと。

来栖委員

逆にあぶた体育館の駐車場にバスを捨てて、そこからガイドさんを付けて行くというのがバスの的にはいいのですが。

綱嶋教育長

距離があるので。

来栖委員

お年寄りの団体の時にはきついのですけど。子供達とかの時。本当にあそこは対向車が来たらどうしようっていう。

吉田委員

普通の乗用車でも危ない。

来栖委員

そうです。だから、バスが嫌がるのです。結局、貝塚館等があると修学旅行さんどうですか、研修どうですかって幹旋しているのですが、道路がきついなという。

綱嶋教育長

計画書の86ページに、これから整備しようとする高砂貝塚、右側の方には貝塚館、ガイダンス施設、この至近距離なのです。ガイダンス施設、高砂貝塚館に行くには町道が整備されていない中でも、ぐるぐる回るより37号線から踏切狭いですが、直進なので。これが一番わかりやすく、駐車スペースはバス等があります。

だから、簡単に駐車場を整備って難しいです。バスの駐車スペースって一定の広さが必要なので、すごい広大地を買収して、全部調査するかと言ったら、そこに費用が膨大にかかるので、この貝塚館の駐車場を活用して。本当は37号からまっすぐ入る道路を。そうすると今度、ここで行き止まってしまうので。

来栖委員

虻田高校の駐車場もございますよね。

綱嶋教育長

距離が遠いので。どっちにしても道路状況は将来に亘って何らかの改善をしなければならないというのは間違いありません。

吉田委員

今の駐車スペースを考えると狭いですよね。そうでもないですか。

角田主幹

バス5台くらいは。

岩原委員長

そのための整備であるのでしょうから、やはり来て、見ていただき体験してもらおうとというのが一番いいのかなっていうことで。この後、詳しい内容を読まさせていただきますけども、是非、活用される、又、意義ある高砂貝塚、入江貝塚史跡にしていきたいと思います。よろしくお願いします。

他にございませんか。

吉田委員

入江保育所は入江貝塚地区の中に含まれている。恐らく前々から色々なお話があったと思うのですが、今後どういうふうにしていくかっていうそういう方向性というのは、とりあえず、現状維持ってということなのでしょうか。

綱嶋教育長

史跡の中にあるので、あそこを改築するとかというのは出来ないのです。入江は将来的には壊していかないとダメです。本町だと収容能力で60人、子どもの施設としては、地震による津波等を考えると、あの場所は適してない。そうなると高台地区に新たなことを考えなければならないという状況。

岩原委員長

入江の貝塚の敷地内ですからね。わかりました。

他にございませんか。なければこの件につきまして終わらせていただきます。

他に何か皆さんの方からございませんか。

来栖委員

中学2年生の男の子の足のけがをされた件、あれからはどうなりましたか。

天野課長

連休前に学校に用事があって、日常生活には支障がなく、学校の中でも活動ができているということで、野球部に入って放課後も練習をしていた。ユニフォームは着いていませんでしたが。学校にはもう少し確認をしなければな

日 程 第 8 【 閉 会 】	りません。あとは後遺症だとか、又、病院に行くといっていましたので、その状況を教えてもらいたいというところまで話をしている。相当劇的に改善しているという状況になっているところです。 岩原委員長 他にございますか。 《なし》 事務局もございませんね。 天野課長 ありません 綱嶋教育長 ありません 岩原委員長 ないという声でございますので、これで平成２７年第２回臨時会議を終了させていただきます。ご苦労様でした。 (1 4 : 2 6)
-------------------------------	--